

〔遊京漫錄〕とよ川の橋をわたるとて

かぞふれば家路を立ちるとよ川やいまいくよへて都なるらん

〔遊囊贖記〕今橋ハ渡津ノ今道ヘカケタル故ノ名ナルベシ、永祿ノ後宿ヲ吉田ト稱スルニヨ

ツテ橋ヲモ吉田ノ橋トイフ、寶永ニ一旦渡トナリケルガ、タチマチ其舊ニ復セラレテ、永ク三大橋ノ名ヲ失ハズ、

〔都紀行〕睦月朔日○文中略吉田の宿にいたるに、吉田火口商ふ家居あり、三河國三川の一とい

へる豊川に掛ける間數百二十間といへる吉田橋を渡りて、小橋三つ四つ越て、○中略御海の宿にたどりて、三升屋某の家に宿りぬ、

〔和爾雅〕地理一下遠江國 濱名橋

〔書言字考節用集〕乾一地濱名橋 遠州濱名郡傳云、元慶八年始架之、長五十六丈、廣二丈三尺、高一丈六尺、

〔名所方角抄〕遠江濱名橋 水海より北の山ぎはなり、橋もとより三里餘北なり、昔は汐海かと歌

にみえたり、夕汐、松原、海士、小松河などよめり、三河と遠江の北の山つゝきなり、古は濱名を海道にせられけり、本坂とて高師山の北に今もあり、はしもとは今の海道なり、世俗に引間と云宿あり、橋よりは五里なり、○下略

〔遠江國風土記傳〕濱名郡大崎

大崎與館山相對之海中一里、古老曰、昔細江之橋場也、本坂道通猪鼻驛之橋場也、故濱名橋有二所、橋本與大崎也、

猪鼻岩與下尾奈相對、追戸渡凡三十步、自追戸北猪鼻湖也、東號細江也、○中略

橋本郷 村三關正西十五町、湖水與潮海之間有洲崎、昔通舞澤驛家、湖水入海所渡、黒木橋、故曰橋本、

〔東遊行囊抄〕七濱名橋 橋本ノ里ヲ出テ右ノ方ニ昔ノ橋ノ迹ト里俗ノ教ル所アリ、○中略

明應以前ノ紀行ヲ考ルニ、都ヨリ東ニ下ル者ハ橋本ヲ過、濱名ノ橋ヲ渡リ、東ヨリ上ル人ハ、濱名